

令和3年度第2回牧之原市地域公共交通会議 評価改善部会

日 時 令和3年12月24日(金) 13時30分～15時50分
場 所 榛原庁舎5階庁議室
出 席 者 別紙のとおり

1 開 会

2 挨拶(伊豆原部会長)

・コロナで新しい株が出てきている。対面で話し合うことは大事。

3 協 議

(1) 令和4年度の路線バス運行について

①相良市街地の拠点バス停の変更等

【質疑応答】

(鈴木委員)

経路変更で相良御前崎線の到着が遅くなると藤枝相良線との乗り継ぎが上手くいくようダイヤの調整をお願いする。

(事務局)

遅延があっても乗り継げるダイヤが設定できるよう考えている。

(増田委員)

ジャストラインへのお願い。藤枝相良線と静岡相良線でバスが遅れそうなときは無線で連絡を取り合ってもらいたい。

(ジャストライン吉林委員)

既に運転手同士が無線で取り合っている。

(伊豆原部会長)

バス停が集中してきてバスが並ぶことはないか。並びすぎてしまうと危険バス停になってしまう。

(事務局)

距離的には100m程度ある。2台ずつ停まってしまうことはないと思われる。事業者路線の方も考慮する。

(増田委員)

同じ名前だと事業者路線と自主運行バスがどちらかわからないため、大きく表示をしたり名称看板を設けてほしい。

(ジャストライン吉林委員)

- ・今は規格品を使用しているので、もう1本規格品を設置するのだが。
- ・埋め込む場合は道路占用が必要になる。土台は1つなので横並びで設置することになる。

(事務局)

今年度に島田掛川信用金庫前に上屋を設置するため、そこに表示ができるとよい。

(伊豆原部会長)

バス停が分かっているとデザインとかでわかりやすさが必要となる。

(増田委員)

相良本通で降りた場合、タクシー乗り場をどうするか。

(東海タクシー大塚委員)

東海タクシーは相良から撤退した。榛南交通が御前崎タクシーに変わったため相良は空白地帯になっている。タクシー事業者にとって相良は対応が難しい地域。

(伊豆原部会長)

- ・自宅からバス停までタクシーで行くのを社会実験でやろうとしている。
- ・タクシーの使い方が変わってきているので利用者の実態を調べるが必要ではないか。また、バス停で降りたらどこまで行こうとしているのか歩ける範囲なのかどうかも含めて調べたほうがよいかもしれない。

(増田委員)

バスの車内放送でタクシーのことについて放送できないか。

(御前崎タクシー古知委員)

大阪ではAIデマンドとして、最大公約数でバス停をバーチャルで作ってマッチングポイントを作っている。車両そのものをあいのこみたいのやつでルートの検討はされないのか。

(伊豆原部会長)

既存の事業者がいるのでそれ次第

(御前崎タクシー古知委員)

大阪は独立採算性だが、名古屋は公的補助をもらっている。

(伊豆原部会長)

それしかない仕組みじゃなくてこういう仕組みがあると持っていけるかが大切

(事務局)

色々なあり方がある。事業者と調整しながらより良い方向に向けていきたい。

(東海タクシー大塚委員)

デマンドは行政の頑張りであり、事業者としては助かっている。

②萩間線のダイヤ変更

【質疑応答】

(増田委員)

どこで遅延が発生しているか把握しているか。

(事務局)

牧之原小学校西側の交差点。警察も渋滞を把握しており、対策も講じていて現在は様子を見ている。

(大崎委員)

- ・車が急激に増えたのが、渋滞につながっている。
- ・小学生も従来のバスでもギリギリ間に合っていたが、一本早いバスで登校している

(2) 令和4年度のデマンド乗合タクシーの運行について

①デマンド乗合タクシーの特定施設の名称変更

【質疑応答】 特になし

②「すげやま・はぎま号」の本格運行への移行

【質疑応答】

(大崎委員)

すげやま・はぎま号の登録者数に対する実利用者数はどれくらいか。

(事務局)

49人で登録者の1/3程度。乗合率が高いのは夫婦で利用している方がいる。

③「じとうがた号」の運行内容の変更

【質疑応答】

(鈴木委員)

萩間に住んでいる人で御前崎病院や痛みのクリニックに行く人は多い。御前崎病院はリウマチ科があり、またてんかんの薬も処方してくれる。萩間に住んでいる人がじとうがた号を乗り継いで行くことは可能か。

(事務局)

考えてはいない。萩間の人が使いたいとなると、はぎま号の目的地を広げる考え方が通常となる。今は地域性を加味しているのでじとうがたでは行けるようにしているが、住民のニーズはあると思うので、市内全域にデマンドが入ったときに全体を見て目的地等を再検討していく余地はある。

(鈴木委員)

デマンドが浸透してきたことは感じている。

(伊豆原部会長)

1年間の延長でよいか

(事務局)

1年の延長でよいが試験運行は最長で3年なので、来年の今くらいにはある程度の目処がついていないと厳しい部分があると思う。

④「まきのほら号」の運行内容の変更

【質疑応答】

(大崎委員)

利用者からありがたい言葉もいただいているが、まだまだPR不足。利用者に口コミをお願いしている。

(伊豆原部会長)

シニアクラブの加入率は、高いのか。

(大崎委員)

加入率はわからないが、2つの老人クラブがあつて、1つは一町内会で20人程度で女性が多い。もう一つは3町内会で60人程度。

(伊豆原部会長)

公共交通は環境によいのと健康にも良いと言われている。

(東海タクシー大塚委員)

デマンドで知り合つて仲良くなってコミュニケーションをとっている人もいる

(杉林委員)

片浜にはバスが通っている。利用者は少ないが、細かくバス停があるので助かっている。中には榛原病院に自転車を置いてバスで藤枝まで行っている人もいる。

(伊豆原部会長)

公共交通は1回でも使ってくれば良さがわかるのだが
アイデアだがバス無料の日をつくるとか、利用促進を後ろから押して上げるような施策もあるのでは。

(鈴木委員)

庁舎には時刻表を置いてくれてある。置いてあることのアピールをしたらどうか。置く

場所を増やしたらどうか（いこっととか）

(事務局)

置く場所についてはもう少し考える。

(伊豆原部会長)

私の町は市民課窓口に置いてある。

(増田委員)

- ・ 菊川というキーワードが多いが、利用施設に入っていないが。コミュニティバスに乗り換えた方はいるのか。
- ・ じとうがたが御前崎に行けるが、まきのはらは菊川に行けないのか。

(事務局)

- ・ 利用施設に入っていないので、乗り継いで行っていない。
- ・ 菊川市のコミュニティバスに接続のできる時間帯のものもある。牧之原の人は菊川市のコミュニティバスに乗ってはいけないの意識がある。菊川市のコミュニティバスが近くまで来てるのに、それを飛ばして菊川市の施設に直接行くわけにはいかない。コミュニティバスへの接続が最初のステップと考える。いずれは直接いけるようにすることも考えないといけないが、導入後まだ半年なのでまだ様子を見ていきたい。

(伊豆原部会長)

- ・ いずれは菊川市のコミバスに牧之原市内の需要の多いところに入ってもらうことも一つの方法ではないか。
- ・ すべて一発でやってしまう訳にはいかないところがある。少しずつ段階を踏んで理解を求めていくことは大切だと思う。

4 閉 会